

南方中央地区 地域づくり計画書



令和2年3月

南方中央地区コミュニティ推進協議会

*****【目次】*****

- ◆「地域づくり計画」の策定について◆ 1
 - 1 計画策定の趣旨
 - 2 計画の期間

- ◆「地域づくり計画」構造図◆ 3
 - 1 基本理念
 - 2 地域づくり活動の基礎となる3つの柱

- ◆中央地区地域づくり計画 行動計画◆ 4
 - ①ふれあい軽スポーツ大会
 - ②中央地区運動会
 - ③環境整備事業
 - ④秋まつり
 - ⑤なごみ♡サロン
 - ⑥盆踊り大会
 - ⑦県外視察研修
 - ⑧伝統文化の継承

- ◆各行政区での主な取り組み◆ 5

- ◆資料編◆
 - 資① 地域づくり委員会名簿
 - 資② 地域づくり計画策定の経過
 - 資③ 人口推移
 - 資④ アンケート結果
 - 資⑤ 行動計画チェック表

◆ 「地域づくり計画」の策定について ◆

南方中央地区コミュニティ推進協議会

会長 永 浦 勝 男



登米市協働のまちづくり指針（平成19年5月策定）の推進方策に基づき、地域のコミュニティ組織などが中心となり、地域課題の解決に向けた行動計画や地域の約束事をまとめる「登米市市民が創る地域のまちづくり計画（以下「地域づくり計画」）」が策定されました。計画期間は概ね5年を目標としており、5年ごとに見直しを行うことになっています。

南方中央地区では、平成17年に南方中央地区コミュニティ推進協議会を設置し、平成27年3月に「地域づくり計画」を策定して地域の課題解決に取り組んでまいりました。今年度は、計画策定からちょうど5年目を迎えており、計画の見直しの時期となっています。

そこでこの度、前回策定した「地域づくり計画」の基本理念と具体的な行動計画の見直し作業をし、「地域づくり計画」を策定いたしました。これから5年間、この新たな「地域づくり計画」をもとに、みなさまと一緒に『みんなで魅力あふれる地域づくり』に取り組んでいく所存です。

みなさまから頂いたアンケートの結果から私たちの地域の良さは、「自然の豊かさ」と「まとまりや助け合い」のすばらしさがあげられています。

逆に、課題としてあげられるのは、コミュニティ組織や活動に対する認知度です。新たな「地域づくり計画」のスタートにあたって、住み良い私たちの地域をつかっていくために、コミュニティ活動の重要性や必要性の認知をもっともっと上げていかなければならないと思っております。良さと課題点をしっかりと押さえて、みなさまと一緒に地域づくりのために尽力していきますので、よろしく願い申し上げます。

1 計画策定の趣旨

近年、急速に進む少子高齢化の進行や人口減少により、社会情勢が大きく変動していて、地域が抱える課題や市民ニーズも複雑化・多様化しています。そのため、住民一人ひとりが抱える課題に、これまで行政が提供してきた公平で画一的な公共サービスでは対応できなくなってきており、地域住民が安心・安全な社会生活を送るためには、地域に根差した地域コミュニティの力が必要不可欠となっています。

登米市では、市民と行政の協働によるまちづくりを推進していくために、平成19年5月に基本的な理念や推進方策などをまとめた「登米市協働のまちづくり指針」を策定しました。それを受け平成24年4月には、指針に基づき「登米市まちづくり条例」を施行し、登米市のまちづくりにおける基本的な事項やルールを定め、「協働による登米市の持続的な発展」を目指すことをまちづくりの基本理念としました。そして、市民の権利と市民、市、議会の役割を明確にし、市民が主体のまちづくりを推進することにより、住み良い地域社会の実現を図ることを目的にしています。

登米市における『協働』の定義

『協働』とは・・・市民及び市が、まちづくりに関する共通の目標を持ち、その実現に向けて個々の能力を最大限に活用し、互いに協力して取り組むことです。

2 計画の期間

南方中央地区コミュニティ推進協議会は、地域の資源や特性を生かしながら地域が抱える課題の解決を図るため、平成27年3月に「地域づくり計画」を策定しました。計画では、地域の住民一人ひとりが主体となり、地域の現状と課題を認識し、地域で出来ることは地域で解決することを基本としており、地域の資源などを再確認、地域が元気になる事業計画などが盛り込まれています。計画の実施期間は5年間となっていて、令和元年度の3月でその5年間が終了し、令和2年度の4月からは、計画実施のまた新たな5年間がスタートします。

それに伴って今回、「地域づくり計画」の見直し作業をして、新たな「地域づくり計画」を策定しました。これから5年間、コミュニティ組織における将来の人口や年齢構成の変化など、地域の実情に応じて「地域づくり計画」の中身の見直しを図りながら、各種事業を展開していきます。

◆ 「地域づくり計画」 構造図 ◆

1 基本理念

住み心地がよく、生きがいあふれる豊かな環境の南方中央地区をつくる。

『みんなで魅力あふれる地域づくり』



2 地域づくり活動の基礎となる3つの柱

○ひとづくり

		アンケートによる課題・目標など
・人材育成	⇒	青少年を対象にした活動 後継者の育成・地域を引っ張る力
・世代間交流	⇒	老若男女の交流 世代間の価値の共有
・学校との連携	⇒	あいさつ運動 コミュニティスクール

○環境づくり

		アンケートによる課題・目標など
・健康・福祉	⇒	地域のつながり 助け合いの心
・生活環境の整備	⇒	豊かな生態系 子育てしやすい環境
・安全・安心	⇒	地域の横の連携 地域資源をいかす

○ふるさとづくり

		アンケートによる課題・目標など
・文化・伝統	⇒	伝統文化・芸能の伝承 地域の助け合う心の文化
・歴史・自然	⇒	現存の維持 南方の歴史や文化
・地域の活性化	⇒	隣近所のつながり 団結力・まとまり

◆ 中央地区地域づくり計画 行動計画 ◆

各事業別、3つの柱の取り組む課題

<プロジェクト>	○ひとづくり	○環境づくり	○ふるさとづくり
①ふれあい軽スポーツ大会	・世代間交流	・健康・福祉	・地域の活性化
②中央地区運動会	・人材育成	・健康・福祉	・地域の活性化
③環境整備事業	・世代間交流	・生活環境の整備	・歴史・自然
④秋まつり	・世代間交流	・生活環境の整備	・文化・伝統
⑤なごみ♡サロン	・人材育成	・健康・福祉	・地域の活性化
⑥盆踊り大会	・学校との連携	・安全・安心	・文化・伝統
⑦県外視察研修	・人材育成	・生活環境の整備	・歴史・自然
⑧伝統文化の継承	・学校との連携	・安全・安心	・文化・伝統



◆ 各行政区での取り組み ◆

防災訓練

除草作業

道路清掃

敬老会

お茶っこ会

子ども会活動

健康教室

地区運動会

地区お祭り

あいさつ運動

ひとり暮らし世帯への
声かけ、見守り





◆ 資 料 編 ◆

「南方中央地区地域づくり計画」 策定委員会名簿

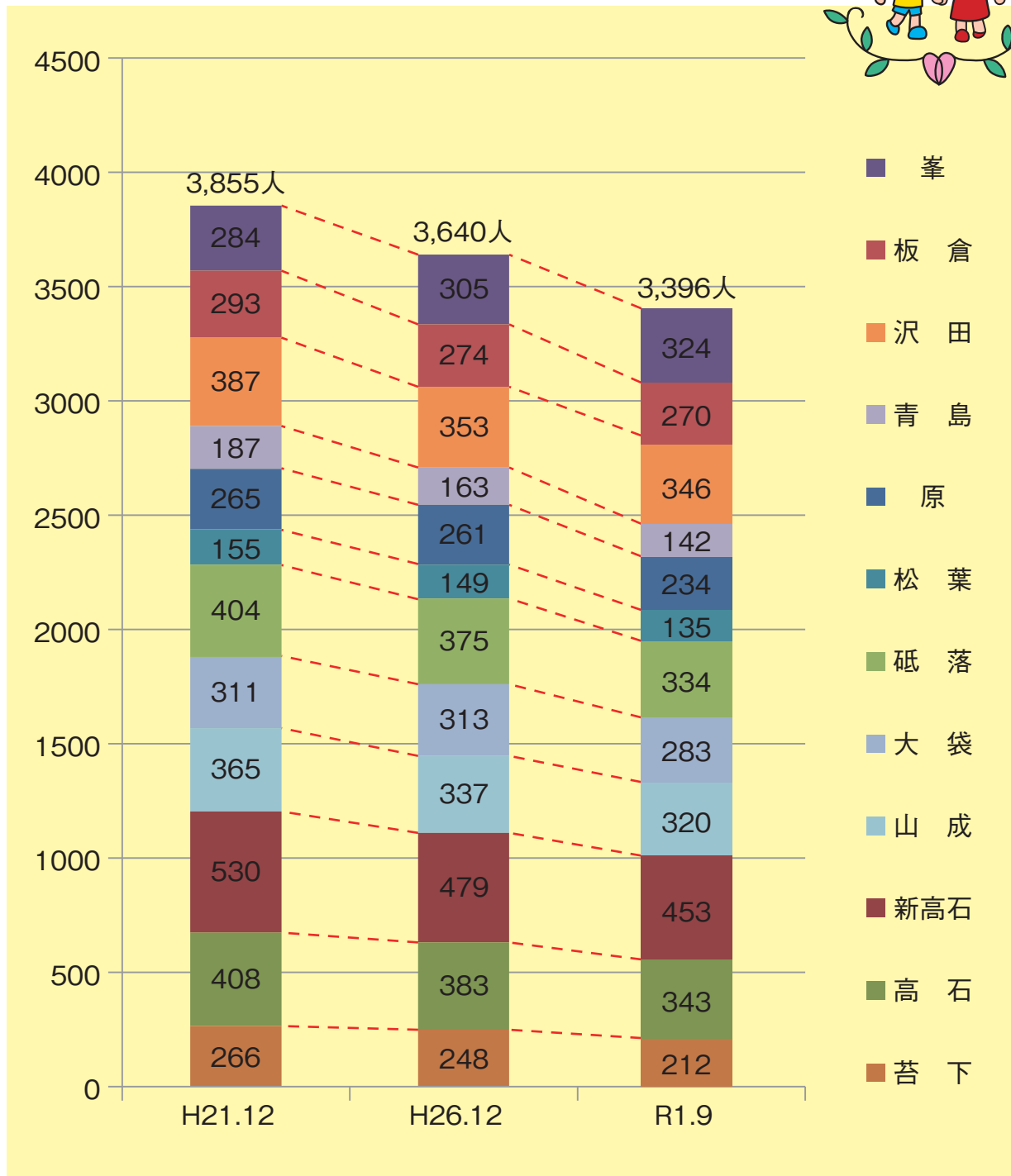
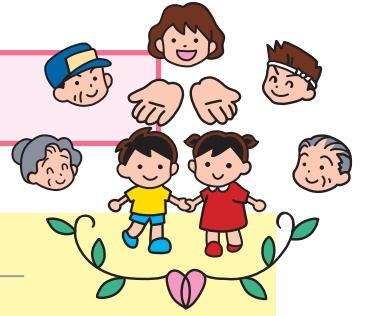
職 名	氏 名	行 政 区
会 長	永 浦 勝 男	沢 田
副 会 長	西 條 殖 文	高 石
副 会 長	星 守	苔 下
委 員	千 葉 哲 夫	峯
委 員	村 田 則 顕	板 倉
委 員	木川田 信 夫	沢 田
委 員	関 壮 一	青 島
委 員	佐々木 衛	原
委 員	高 橋 正 好	松 葉
委 員	佐 藤 次 夫	砥 落
委 員	新 田 佳 夫	大 袋
委 員	高 橋 恒 夫	山 成
委 員	田 代 和 郎	新 高 石
委 員	伊 藤 忠 輝	高 石
事業推進委員長	高 橋 良	松 葉
広報情報委員長	佐 藤 直 也	山 成
南小PTA会長	阿 部 修 也	板 倉
南方総合支所市民課	小 泉 勝	
とめ市民活動プラザ	佐 藤 幸 広	
南方公民館館長	佐々木 弘 喜	
集 落 支 援 員	柴 田 佳 子	

◆ 地域づくり計画策定の経過 ◆

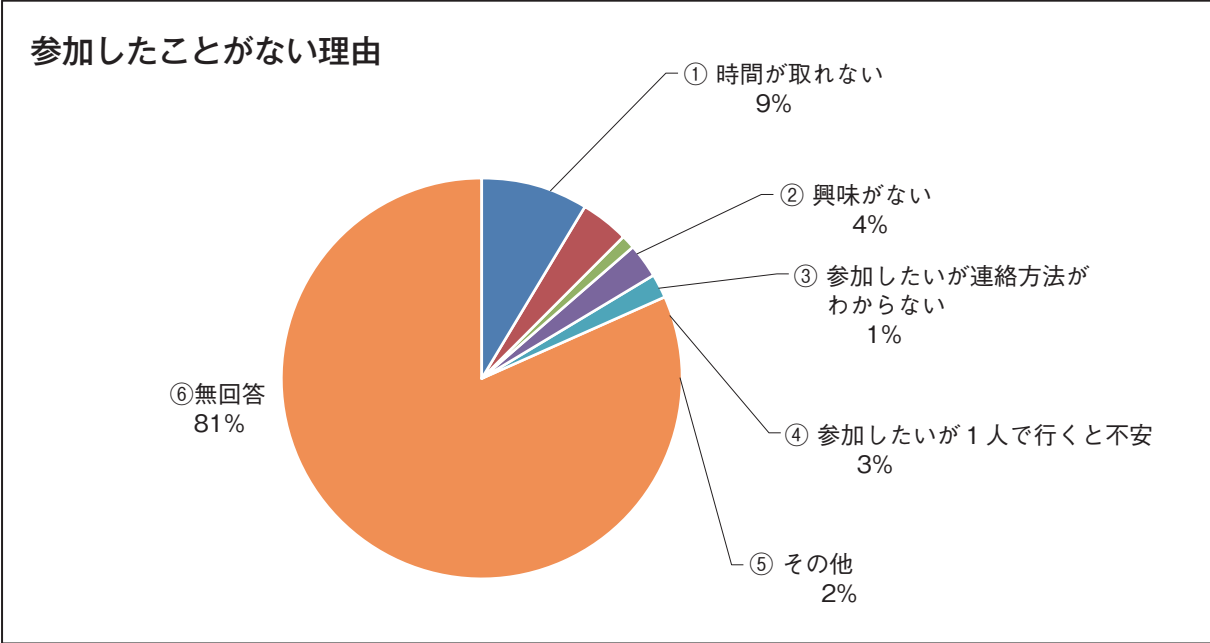
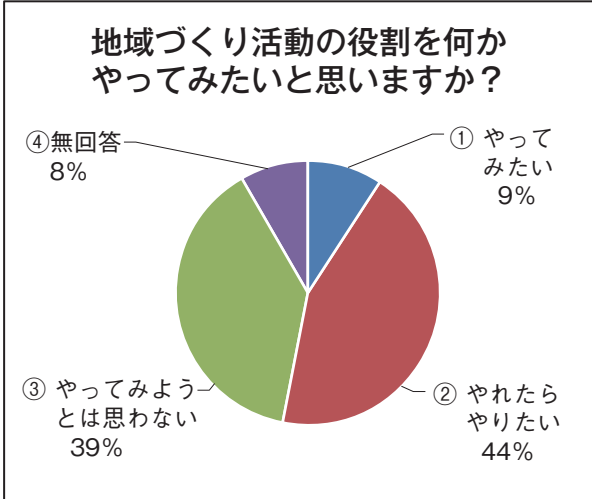
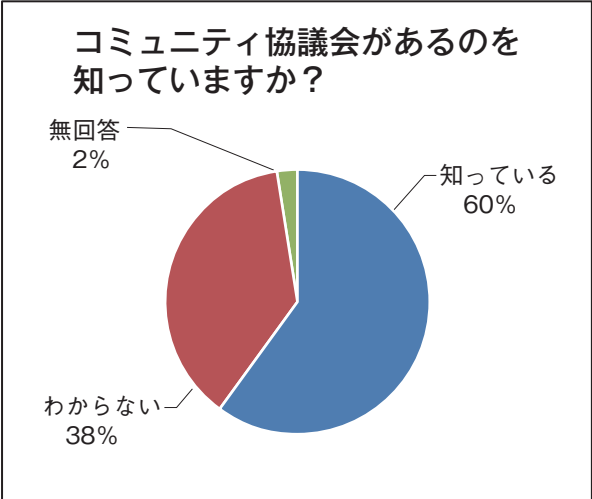
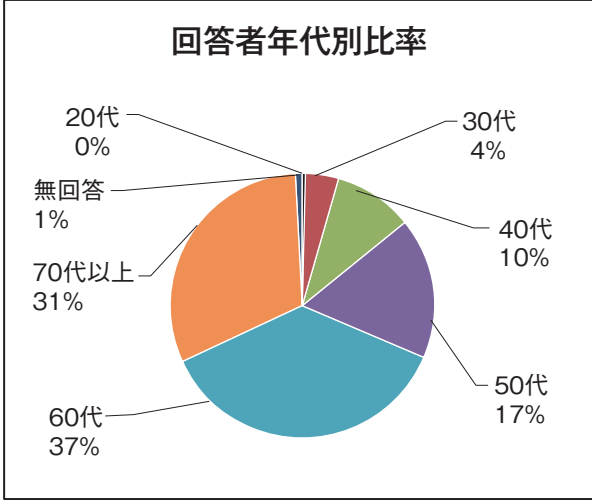
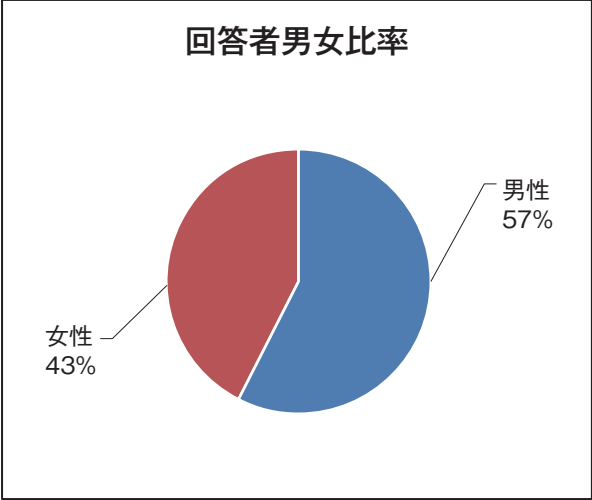
日 程	会 議 の 内 容		場 所
令和元年 6/19(水)	第1回 策定会議	地域づくり計画策定委員の体制	南方公民館
7/10(水)	第2回 策定会議	前回の地域づくり計画書の見直し	南方公民館
8/20(火)	第3回 策定会議	アンケートの内容・送付・取りまとめ検討	南方公民館
9/2(月)	アンケートの発送	中央地区全世帯に配布	
11/13(水)	第4回 策定会議	アンケートの分析	南方公民館
令和2年 1/29(水)	第5回 策定会議	地域づくり計画書の原稿について	南方公民館
2/19(水)	第6回 策定会議	地域づくり計画書のゲラ原稿確認	南方公民館
3/18(水)	地域づくり計画書配布	地域づくり計画書の毎戸配布	



南方中央地区の人口推移



アンケート結果



【地域の課題】

<少子化、高齢化>

- ・少子高齢化。　・少子化、若者減少。　・若者人口の減少。
- ・ひとり暮らしの老人が多くなりつつある。
- ・高齢化と後継者不足による家屋敷の荒廃。
- ・高齢化になって後継者がいない。地区運営が難しくなっている。
- ・農業後継者。　・後継者の育成。
- ・孤独死を出さないような地域の見守り。
- ・高齢者よりも青少年を対象にした活動に中心を移すべき。

<職　場>

- ・働く場。　・企業誘致。　・若者の働く場の確保。
- ・仕事をする所がない。

<参 加 者>

- ・若者の行事への参加が少ない。　・参加者が少ない。
- ・土日の行事が多いため、参加できない。
- ・参加者が少なく高齢者が多く、行事の顔ぶれは同じ人が多い。
- ・行事に人が集まらない。　・若い人達が出にくい。
- ・世代のバランスと若者の地域への参加。　・若い人が出てこない。

<世代間交流>

- ・世代間の価値の共有。　・老若男女の交流の場が少ない。
- ・世代間交流がない。　・地区以外の人たちと交流できない。
- ・大人から子どもまで間の交流事業の充実。
- ・30代、40代の交流の場がほとんどない。
- ・子育て世代は働きに出ていて近所づき合いが少ない。

<意　識>

- ・住民の意識の低さ。　・地域をひっぱっていく新しい人材が少ない。
- ・ひとりの意見がみんなの意見を封じている。
- ・自らの力を高めていくこと。　・コミュニティ、声かけ。

<農 産 物>

- ・農業と生活の共存。　・名産品が少ない。　・優れた食材のブランド化。
- ・特産物がない。　・地域資源を生かした産業づくり。

<医 療>

- ・産婦人科が近くになくなった。 ・医療の充実。
- ・市立病院の医者の確保。

<事業内容>

- ・助成金などを消化するためだけのイベント。 ・行事内容もマンネリ。
- ・自分勝手が多い。 ・人材不足。
- ・地域の歴史を語れる人が少なくなっている。 ・地域づくり。
- ・役員になった時の負担が大きすぎ。

<多 忙>

- ・定年後、活動に参加出来やすくする。 ・行事や役が多い。
- ・若い人達は暇がない。 ・若・中年層の余暇不足。

<環 境>

- ・コミュニケーション不足。 ・交通機関の充実。
- ・バス停が近くにない。 ・運転免許を返納した場合のバス等の回数。
- ・若者が立ち寄るようなカフェがない。 ・土地の荒廃。
- ・強風による杉の木の倒木が多い。
- ・地域がさっぱりしていない（こぎれいに）。
- ・若い人達が戻ってきて住みたいと思える環境を作る。
- ・子ども達の遊び場。 ・子育てしやすい環境整備。
- ・活性化。 ・リラックスする場がない。 ・子育てしやすい環境。
- ・子どもの学力の低下。 ・交通機関の充実。
- ・高齢化に伴う、参加者の送迎。 ・文化財的なものの修繕。
- ・防災力、教育力、定住力、生産力、文化力、連帯力、観光力等々。



【地域のほこり】

<連 帯 力>

- ・隣り近所のつながり。 ・どんな行事も協力しておこなう。
- ・人の温かさ。 ・人々とのつながり。 ・まとまり。
- ・地区の協同作業での連帯力。 ・団結力。 ・近所つき合いが良い。
- ・バイタリティあふれる方々、リーダーシップのある方がたくさんいる。
- ・地域の横のつながり。 ・人のつながり。 ・助け合いの心。
- ・災害の時の助け合い。 ・区長、各役員が一生懸命やってくれている。
- ・環境美化活動への参画。 ・自治活動。

<環境・自然>

- ・豊かな自然。 ・田園風景。 ・千本桜。
- ・豊かな農村環境。 ・米がおいしい。 ・静かなところ。
- ・自然・農業の取り組み。 ・自然、伝統、街並み。

<人 情>

- ・老人への思いやり。 ・おおらかさ。 ・穏やかな人が多い。

<行 事>

- ・伝統文化財や地域行事が盛ん。 ・地域文化。 ・講中や祭りがあること。
- ・スポーツや行事、お祭りが続いている。 ・秋まつりが続いている。
- ・古い文化も継承しながらも新しい所を取り入れながら実施している。
- ・祭り事。

<文 化>

- ・なまりを残しておくべき。

<農 産 物>

- ・優れた食材。 ・農産物、畜産。 ・豊かな生産力。 ・環境保全米。

<礼 儀>

- ・あいさつ運動。 ・小中学生がきちんと挨拶をする。

<老人パワー>

- ・老人が元気。 ・高齢者の活動が活発。

<安全、便利>

- ・いろんな施設が近くにあり、便利。 ・交通事故の減少。 ・犯罪がない。

【伝承すべきもの】

<歴史・文化・芸能>

- ・ 伝統文化や芸能。 ・ 南方の歴史、文化。
- ・ 地元神社等祭事の次世代への継承。 ・ 畑岡神楽。 ・ 太鼓。
- ・ 田植え唄踊り、柳生心眼流等の伝統文化。 ・ 郷土かるた大会。
- ・ 神楽、民謡、盆踊り、和楽器演奏など昔からあるもの。 ・ 郷土芸能。
- ・ 個々が持っている（製作、料理、楽器演奏等）を伝える。 ・ 町の歴史。
- ・ 歴史の遺産。 ・ 文化財。 ・ 地域の守り神。 ・ 盆踊り。
- ・ お祭りの手踊り。 ・ ご祝儀の時の謡。 ・ 神社仏閣。 ・ 地区の祭り。
- ・ 地域の秋祭りや運動会。 ・ 歴史的な石碑。

<郷土料理>

- ・ はっと。 ・ 料理。 ・ はっとやその他の郷土料理。 ・ はっと、ずんだもち。

<つながり>

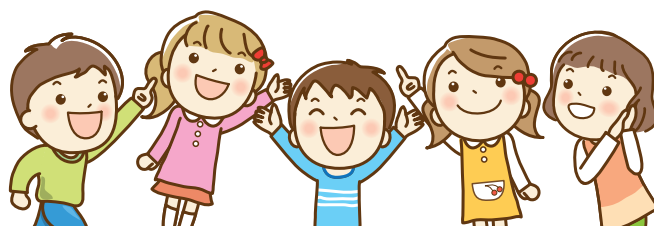
- ・ 人と人のつながり。 ・ 地域の助け合う心の文化。
- ・ 地域のつながり。 ・ 人情。 ・ おもてなし。 ・ 地域の心。
- ・ 地域の役割。 ・ 地域の人々との挨拶、声かけ、話し合い。

<環 境>

- ・ 自然。 ・ 子どもが伸び伸び育てられる環境。 ・ 大嶽山の環境。
- ・ 住み良い町。 ・ 地区内のほこり。 ・ 自然、伝統、街並み。
- ・ 豊かな生態系。 ・ 農産物。 ・ 地域基盤である稲作を守る。
- ・ 現存の維持。

<伝 承>

- ・ 昔から続いているものを若い世代に。 ・ 昔の苦労話。
- ・ 古くからの町おこし。 ・ 昔の南方の様子について子ども達に伝えていく。
- ・ 味噌や豆腐作りなど、自給自足のやり方。 ・ 古い歴史と新しき事など。
- ・ ジュニアリーダー。 ・ 全世代が参加できるスポーツ大会。



行動計画チェック表

中央地区コミュニティ推進協議会の会議で年度末に達成度のチェックを入れ5年終了しましたら会員の皆様にお知らせいたします。

未実施 ×	実施 ○	継続実施 ◎
----------	---------	-----------

プロジェクト	3つの柱の取り組み	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
①ふれあい軽スポーツ大会	世代間交流					
	健康・福祉					
	地域の活性化					
②ふれあい運動会	人材育成					
	健康・福祉					
	地域の活性化					
③環境整備事業	世代間交流					
	生活環境の整備					
	歴史自然					
④秋まつり	世代間交流					
	生活環境の整備					
	文化・伝統					
⑤なごみ♡サロン	人材育成					
	健康・福祉					
	地域の活性化					
⑥盆踊り大会	学校との連携					
	安全・安心					
	文化・伝統					
⑦県外視察研修	人材育成					
	生活環境の整備					
	歴史・自然					
⑧伝統文化の継承	学校との連携					
	安全・安心					
	文化・伝統					

メ モ

A series of horizontal dashed lines for writing, consisting of 20 lines spaced evenly down the page.



南方中央地区コミュニティ推進協議会

〒987-0401 宮城県登米市南方町八の森40番地 1
TEL:0220-58-2167 FAX:0220-58-2168
E-MAIL: nankou@trad.ocn.ne.jp